

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ベンデッタスナイパー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.535	△RG	0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

PAPからピンとの距離

**5 1/4** インチ

番

**比較対象ボール：ベンデッタキラー**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

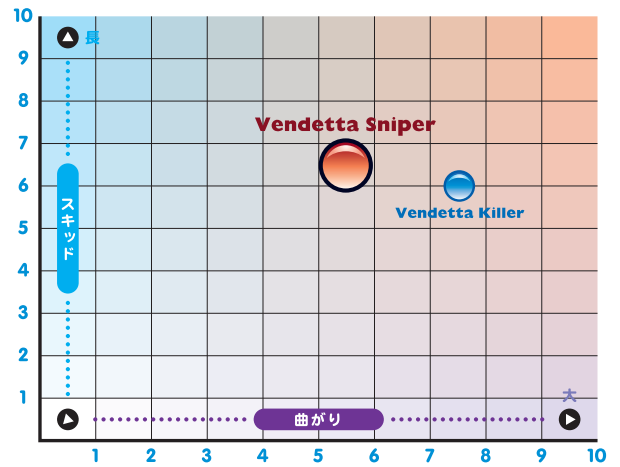
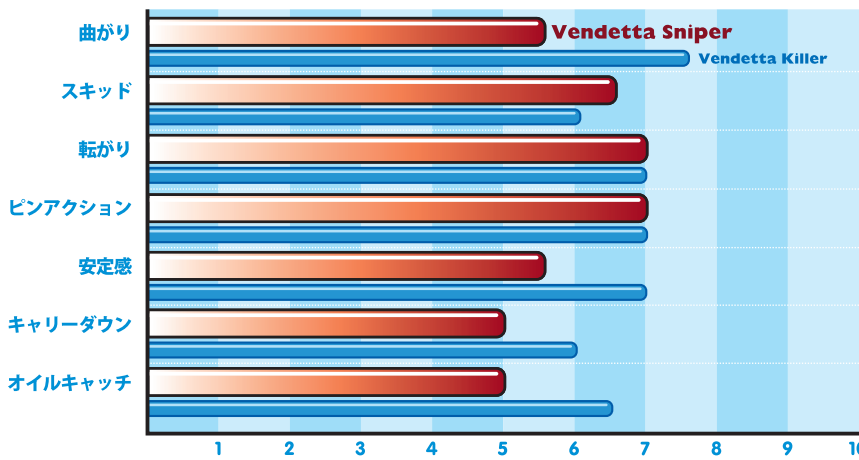
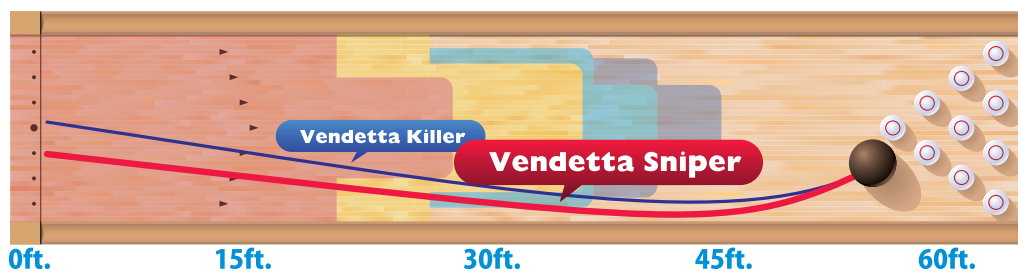
ポリッシュ

研磨剤

PAPからピンとの距離

**5 1/4** インチ

番



### ボールの評価

スキッドはキラーと比べるとやや長めに感じるが、スべるイメージではなく持続的なキャッチを伴いながらのスキッドと良い転がりを感じる。曲がり幅的には大きくは感じないが、緩やかに弧を描くイメージの軌道は、ベンデッタシリーズ特有の運動特性で扱いやすい曲がりを感じる。総合的にダイノタンのボールは、ドライポイントでの派手さが無いマイルドなリアクションのイメージがあり、コントロール性能に優れていて、独特な転がり感とキャッチ力、そしてリアクションのイメージは、特に高回転のボウラーが扱いやすさを求めて使用していただいていることと思います。今回のスナイパーも柔らかい粘りのあるピンアクションはそのままに、HIGH エナジーとベンデッタ・マックスの中間的に使用していただけるスペックで登場いたしました。ミディアムコンディションを中心に、またバックエンドで過剰反応してしまうコンディションでパフォーマンスは如何なく発揮され、曲がり終わらないマイルドなリアクションが強いピンアクションを演出しています。特にタイトなラインで投球しなければならないコンディションで使用していただきたい逸品です。

### 特記事項

派手なイメージで曲がるボールではありませんが、マイルドな扱いやすい曲がりと柔らかいピンアクション。是非お試し下さい。高回転ボウラーには特にオススメです。